

学習塾概要

○名称

と・こ・と・ん・教・室 平成進学アカデミー

○所在地ほか

日立市、高萩市など茨城県の県北地区を中心に、小1～高3を対象に9校開校。

1クラス平均5～6人の少人数制クラスなどで編成している。

○電話番号

0294-24-6373（日立校）

○代表者

長久保 徹



『日本語検定に出会えたことに感謝しています。最優秀賞や優秀賞などをいただき、生徒たちはトロフィーや賞状を目にするにつけ、嬉しそうで誇らしげです。』

代表者：長久保 徹

国語力こそ学力の基礎

＝長久保徹・平成進学アカデミー塾長に聞く

茨城県の県北地区に躍進を続ける学習塾があります。日立市や高萩市などで9校の学習塾を展開する「と・こ・と・ん・教・室 平成進学アカデミー」がそれで、昨秋行われた日本語検定には、子供たちの全員が団体受検しました。結果は、高萩校が学習塾関係では全国唯一の最優秀団体賞、磯原校も優秀団体賞を受賞するという好成績でした。同アカデミーは、日ごろの学習指導でも小学生が古典の読解に取り組むなど国語力の育成に力を入れています。『アンダルシアの風に吹かれて』（思潮社）の著者で、ミュージシャンとしても活躍する長久保徹塾長に、話をうかがいました。

（インタビュアーは時事通信社記者 牧俊朗）

《最近の子どもたちの国語力について、どういう印象を持っていますか》

昔も今も国語力のある子は、良く本を読んでいます。しかし、ゲームなどの影響で本に接する機会・時間は相当に減っています。テレビも垂れ流し状態で、親も含めてよく見えますから、考える時間もなくないつつのまにか受け身人間が量産されてしまったように思います。

《塾として、日本語検定を受検することになった理由をお教えてください》

学力向上のためにはまず、国語力が必要です。子供たちを指導する中で、漢字だけでは国語力はつかないと確信したからです。その上、正しい日本語を使える大人が少なくなり、日本語の危機を感じました。日本人として日本語の持つ独特の質感を楽しみながら使えたら、日本人としてどれほど幸せか。私自身もそうありたいと願っていますが、日本語を上手に操れたら日本人としてのアイデンティティーをも自覚することができ、日本人として世界の人たちと向かい合えると思います。日本人に足りない母国愛にもつながるでしょう。

《塾として、意識して国語力を高めるような取り組みを何か行っていますか》

国語力をつけるということも、国語を教えるということも簡単ではなく、多くの先生方は悩み、どうしようもなく漢字に走りがちです。しかし、長年、子供たちを指導する中で、この地域の水戸一高や日立一高に上位で合格する生徒たち、いわゆるできる子の共通点は国語力にあるということに気づいたのです。特に、速読力です。速読力のある子は読解力もある。当然、国語の点数もいい。当塾では数年前から、ストップウォッチを持って生徒たちに速読を競わせています。

また、古くからある日本語の美しい調べや力強さを体感させ楽しんでもらおうと、小学生に古典の読解をさせています。清少納言の「枕草子」や「平家物語」などの不思議な日本語と対峙して、最初は戸惑いながらも子供の独特の柔軟な感性で、古きその世界へ飛び込んでいきます。とっっても楽しそうに、愉快そうに学んでいます。

《受検結果をどう判断していますか。子どもたちの反応はいかがですか》

日本語検定に出会えたことに感謝しています。最優秀賞や優秀賞などをいただき、生徒たちはトロフィーや賞状を目にするにつけ、嬉しそうに誇らしげです。これから、国語に関心を寄せ、彼らは、幸せな日本人としての人生を歩めることでしょう。わたしたちは、そうなるように応援してまいります。

《ほかに何か、国語にまつわる思い出があったらお聞かせください》

ずいぶん前の話しですが、国語が苦手なと言っていた入塾してきた女子生徒がいました。数学はいつも100点を取る子でしたが、国語はなぜか70点台。私が彼女に薦めた勉強法は「古典の読解」でした。古典の読本には、古文と現代文（訳文）があり、幅広い読解力を付けるには効果的でした。彼女は私が薦めたそれを読破しました。その後、当塾の記念パーティーに顔を出してくれ、「先生のおかげで、あれから国語が一番好きな教科になりました。」と笑顔で話し、東京大学文学部で、中世の古典を研究していると言っていました。ちょっとした助言や出会いで、人は変わるものです。これからも、子供たちの無限の可能性を引き出せるように努力していきたいと思っています。